

試験室空調機修繕（大崎広域中央桜ノ目衛生センター）仕様書

第1章 総則

本仕様書は、大崎地域広域行政事務組合（以下「発注者」という。）が発注する大崎広域中央桜ノ目衛生センターの試験室空調機修繕に適用する。

第1節 計画概要

1. 一般概要

本業務は、大崎広域中央桜ノ目衛生センター試験室で使用する空調機を修繕し、機能回復を目的として行うものである。

- 2. 件 名 試験室空調機修繕（大崎広域中央桜ノ目衛生センター）
- 3. 場 所 大崎市古川桜ノ目字新高谷地 347 番地
大崎広域中央桜ノ目衛生センター
- 4. 期 間 令和7年9月1日まで
- 5. 支払方法 竣工払い

第2節 設計施工方針

1. 適用範囲

本仕様書は、基本的内容について定めるものであり、受注者は本仕様書に明記されていない事項であっても、本修繕の目的達成のために必要事項、または修繕の性質上当然必要と思われるものについては、受注者の責任において行うこと。

2. 使用材料

使用材料は、指定や特記がない場合、着工前と同等の性能を有するものとし、用途に適合し、耐久性を有する素材であること。

3. 疑義・変更

本仕様書について施工中に疑義が発生した場合、受注者は発注者と協議し決定するものとする。また、本仕様書は、原則として変更は認めないが、発注者の指示等により変更する場合はこの限りではない。

第3節 修繕概要

1. 対象機器及び品目（参考）

- (1) 日立製空調機 RCI-GP140RSHP11
 - 仕 様 : 冷房能力 12.5 (3.1～14.0)
 - 暖房能力 14.0 (3.5～18.2)
 - 室外機 RAS-GP140RSH3
 - 室内機 RCI-GP71K3 × 2
- 数 量 : 2組

- (2) 高湿度対応標準パネル P-AP160NA (R)
数 量 : 4 枚
- (3) 高湿度対応キット KST-160K1
数 量 : 4 組
- (4) 冷媒配管 (9.52/15.88)
数 量 : 8 m
- (5) 室内機吊り込み部材, 室外機設置部材, ドレイン配管接続部材
数 量 : 各 1 式

2. 修繕内容

- (1) 既設空調機の撤去及び新設空調機の設置
- (2) 撤去物及び廃材等の廃棄処分

3. 部品の品質及び性能

使用部品・材料等は、すべてそれぞれの用途に適合する欠点のない製品で、かつすべて新品とし日本産業規格 (JIS) 等の規格が定められているものは、これらの規格品を使用すること。

4. その他

- (1) 交換・調整等に係る経費は受注者が負担すること。
- (2) 作業終了後は、周辺の清掃及び後片付けを行うこと。
- (3) 交換に関する消耗品等は、受注者負担とする。
- (4) 本修繕で発生した撤去物及び廃材等の処分は受注者の負担により撤去すること。
- (5) 本仕様書において指定する型式や品名等は参考であり、全て同等品以上の性能を有するものを可とする。同等品により入札する場合は、告示に示す質問の期限までに、メーカー名、品名、品番を記載した質問書及びカタログの写しを持参又はメール等により提出し、発注者の確認を受けること。入札後の申請は原則認めない。

第4節 保証

1. 保証期間

本修繕の完成品の保証期間は、正式引き渡しの日から1年間とする。ただし、発注者と受注者が協議の上別に定める消耗品等についてはこの限りではない。

なお、保証期間中に生じた構造上の欠陥、破損等は、受注者の負担において速やかに補修、改善もしくは取替を行わなければならない。ただし、発注者の誤操作、天災等の不測の事故に起因する場合はこの限りでない。

2. 正式引渡

修繕完了後に発注者が検査を行い、その結果に基づいて本設備を正式に引き渡しするものとする。

第5節 完了及び提出図書等

1. 完了

受注者は本修繕完了後、速やかに完成時提出書類を発注者に提出し、発注者監督職員立会

いのもとに完成検査を実施し、合格をもって完了とする。

2. 提出図書等

受注者は、下記図書等を作成し提出するものとする。

- (1) 契 約 時：消費税に関する届出書
- (2) 着 工 時：着手届及び工事工程表、現場代理人等通知書、経歴書
- (3) 施 工 時：作業日報（当日の作業内容、作業員数、進捗率等を記入）
- (4) 完 了 時：完成届、完成報告書、現場写真（施工前、材料検査、作業中、施工後）
冷媒ガス回収破壊処理に関する書類（工程管理表）
その他発注者が指示する図書
- (5) 提出部数：上記の書類について発注者より指示がない場合は各1部の提出とする。

第6節 その他

1. 許認可申請

内容により関係官庁へ認可申請、報告、届出等の必要がある場合には、その手続きは受注者の経費負担により代行する。

2. 修繕の基本的事項

本修繕施工に際しては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 受注者は作業にあたっては、安全に配慮留意し、関係法令を遵守するものとする。特に火気等の使用については、発注者監督職員と十分協議をすること。
- (2) 粉塵発生場所や薬液保管場所での施工時は作業員に対し、防塵マスクや保護めがね等の着用を義務付けること。
- (3) 消耗品に該当する部品を発注者側にて予備品として保管している場合は、発注者と協議の上、予備品を優先的に使用する。
- (4) 他設備、既存物件等への損傷・汚染防止に努め、受注者の責任範囲において損傷・汚染が生じた場合は、受注者の負担で速やかに復旧すること。
- (5) 制御盤の操作等については、発注者の担当者立会いのもとに行い、基本的に作業中は既設制御盤の電源を落とすものとする。
- (6) 契約後に疑義が生じた場合は、発注者と十分協議を行い、発注者の指示に従うものとする。
- (7) 本修繕において発生した撤去物及び残材等の処分についてのマニフェストは、発注者に提出するものとする。

3. 暴力団等の排除について

- (1) この契約の履行期間中に大崎地域広域行政事務組合が発注する建設工事等からの暴力団等排除措置要綱（平成24年10月1日施行。以下「排除要綱」という。）の措置要件に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。
- (2) 発注者から指名停止の措置及び資格制限の措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、排除要綱の措置要件に該当すると認められるときは、当該下請契約等の

解除を求めることがある。

- (3) この契約の履行に当たり暴力団員又は暴力団関係者（以下「暴力団員等」という。）から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察に通報を行うとともに捜査上必要な協力を行い、直接元請負人に報告する措置を行うよう指導すること。なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行遅滞等が発生するおそれがあると認められるときは、必要に応じて、工程の調整、工期の延長等の措置を講じる。